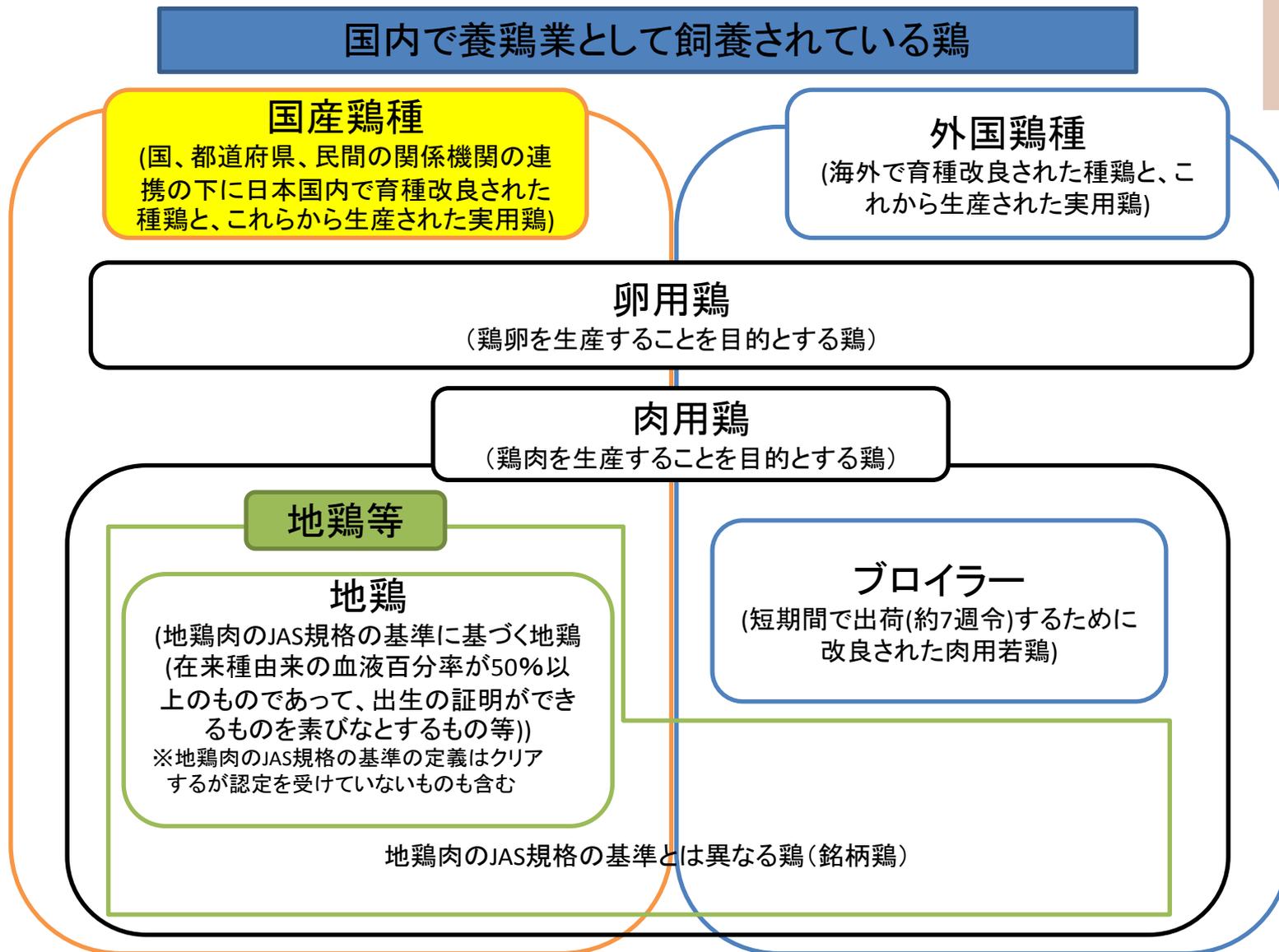


## 補足説明資料

- 1 国産鶏の定義に係る区分について ……1
- 2 地鶏等の改良目標の数値目標設定の可能性について……3
- 3 生産能力について ……4
- 4 改良目標値(平成37年度)の検討について ……8

# 1 国産鶏の定義に係る区分について

注：議論を踏まえて精査中



注：上記の図に記載している国産鶏種の中には卵肉兼用種(例：岡崎おうはん)も含まれる。

# (参考)地鶏について

- ・地鶏肉の特定JAS規格の認定を受けている銘柄は、平成25年9月現在で6銘柄。その事業者は82戸。
- ・現在、地鶏肉の特定JAS規格の見直しが行われており、27年度中に改正。

## ○ 地鶏の定義

### 「地鶏肉の日本農林規格」(特定JAS規格)

(制定) 平成11年6月21日  
(最終改正) 平成22年6月16日

#### <素びな>

在来種由来百分率が50%以上。

#### (在来種)

軍鶏、岩手地鶏、比内鶏、岐阜地鶏、名古屋種、三河種、土佐地鶏、地頭鶏、熊本種、薩摩鶏、烏骨鶏、矮鶏、コーチン、横斑プリマスロック、ロードアイランドレッド、声良鶏、東天紅鶏、蓑曳鶏等38品種

#### <飼養期間>

ふ化日から80日間以上飼育

#### <飼養方法>

28日齢以降平飼いで飼育

#### <飼育密度>

28日齢以降1㎡当たり10羽以下で飼育

## ○ 地鶏肉の特定JAS規格の認定を受けている銘柄(平成25年9月)

	銘柄数	銘柄名(県政順)
平成11～13年	2	奥美濃古地鶏、阿波尾鶏
14年	4	紀州鶏、播州地どり、おかやま地どり、はかた地どり
15年	4	筑波地鶏、やさとしやも、岡山桃太郎地どり、鳥取産大山地どり
16年	5	奥久慈しゃも、丹波黒どり、熊本コーチン、天草大王、みやざき地頭鶏
17年	2	京赤地どり、讃岐コーチン
18年	1	媛っこ地鶏
19年～	3	三陸地鶏、飛騨地鶏、おおいた冠地どり
計	22	
平成25年9月現在	6 (82戸)	つくばしゃも(やさとしやも)(2)、奥美濃古地鶏(6)、阿波尾鶏(58)、熊本コーチン(1)、天草大王(9)、おおいた冠地どり(6)

## 2. 地鶏等の改良目標の数値目標設定の可能性について

### ＜地鶏等の飼養期間及び目標体重＞

- ・地鶏等については、各銘柄によって特徴や性能等が異なるため、飼養期間や目標体重等の設定状況も多様。
- ・このため、地鶏等の改良目標値の数値設定は困難ではないか。

#### ○主な地鶏等の飼養期間及び目標体重

都道府県名	コマーシャル鶏の名称	区分	飼養期間(日齢)		目標体重(g)	
			雄	雌	雄	雌
秋田県	比内地鶏	地鶏	120	150	2,800	2,400
岐阜県	奥美濃古地鶏	地鶏	雌雄80日齢以上		3,600	2,700
愛知県	名古屋コーチン	地鶏	130	150	2,900	2,400
徳島県	阿波尾鶏	地鶏	雌雄80日齢		3,500	2,800
福岡県	はかた地どり	地鶏	雌雄80日齢以上		3,900	3,100
	はかた一番どり	地鶏の基準に基づかない鶏	雌雄63日齢		3,300	2,750
熊本県	天草大王	地鶏	120	130	4,000	3,400
宮崎県	みやざき地頭鶏	地鶏	120	150	3,900	3,100
鹿児島県	黒さつま鶏	地鶏	84	126	2,800	2,800

資料: 家畜改良センター兵庫牧場「都道府県における地鶏、銘柄鶏の生産状況(平成25年度調査版)」(抜粋)

注) 都道府県で開発されたコマーシャル鶏の年間生産実績10万羽以上を抜粋

### 3 生産能力について

#### (1) 卵用鶏の現状値のデータ見直し(案)

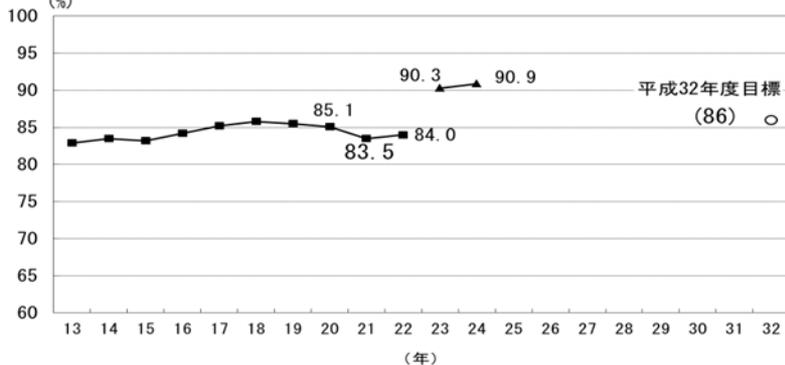
- ・卵用鶏のデータについては、平成22年までは鶏改良推進中央協議会における組合せ検定成績及び都道府県の一部の能力検定成績に基づき推計。平成23年以降のデータは、都道府県の一部の能力検定成績に基づき推計。
- ・ただし、平成23年以降のデータ(特に産卵率とそれに伴う日産卵量)はトップデータとの指摘もあるため、農家レベルのデータに置き換えた数値を基に目標値を設定してはどうか。
- ・この場合の農家レベルのデータについては、外国鶏の銘柄鶏を販売する民間企業が収集した国内のフィールドデータ(20週齢～60週齢)をもとに推計してはどうか。

○第1回鶏研究会(H26.6)で示した現在値(抜粋)

年度	産卵率 (%)	300日齢 卵重 (g)	日産卵量 (g)	50%産卵 日齢 (日)	飼料 要求率	飼養羽数 (百万羽)
目標値(32年度)	86	61-63	52-54	145	2.0	171
現状値(24年度)	90.9	61.8	56.1	144	1.90	175

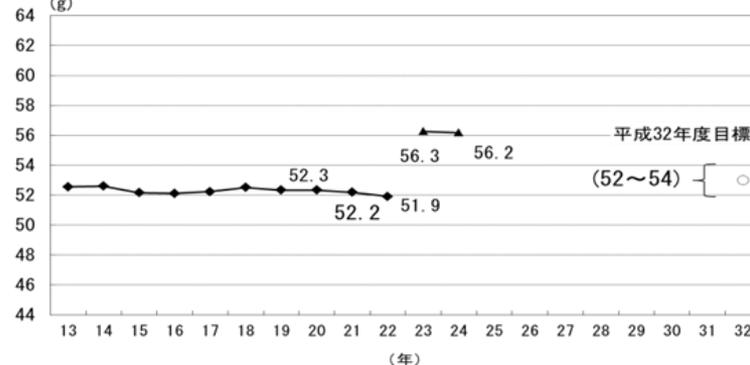
※産卵率＝50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵個数/50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の生存延べ羽数×100  
 ※日産卵重＝産卵率×300日齢卵重  
 ※飼料要求率＝50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の飼料消費量/50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵重量  
 ※現在値(24年度)は1400羽の検定成績から推計

(1) 産卵率 (%)



資料：畜産振興課調べ

(3) 日産卵量 (g)

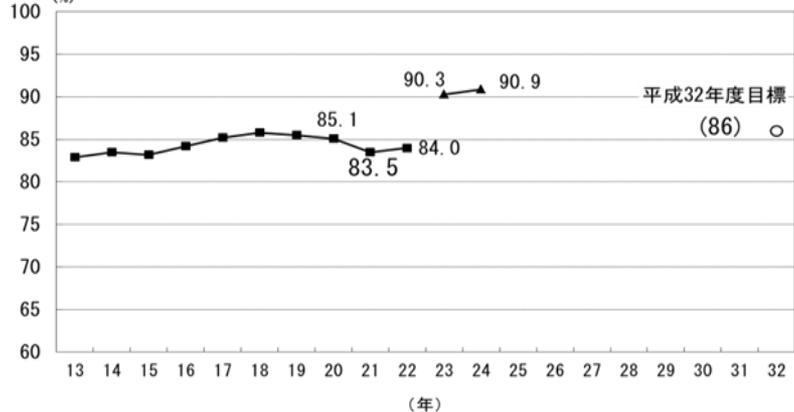


資料：畜産振興課調べ

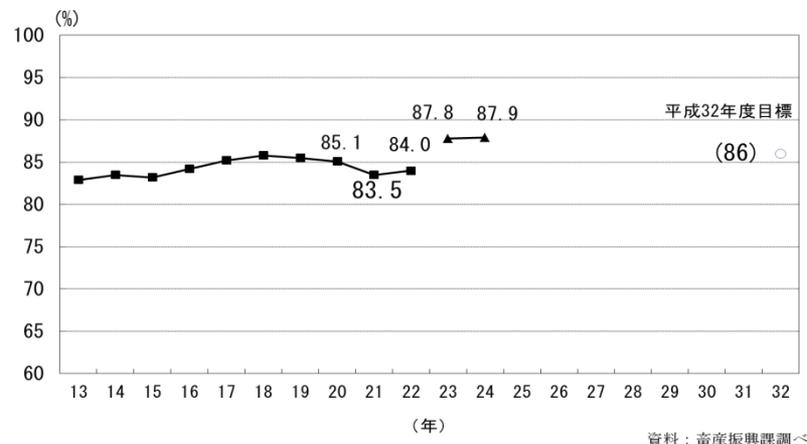
# ○ 見直し前と後のデータ比較

## <見直し前>

(1) 産卵率 (%)

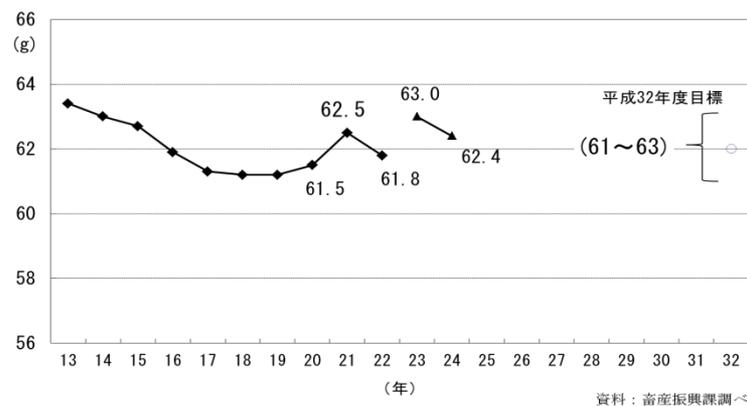
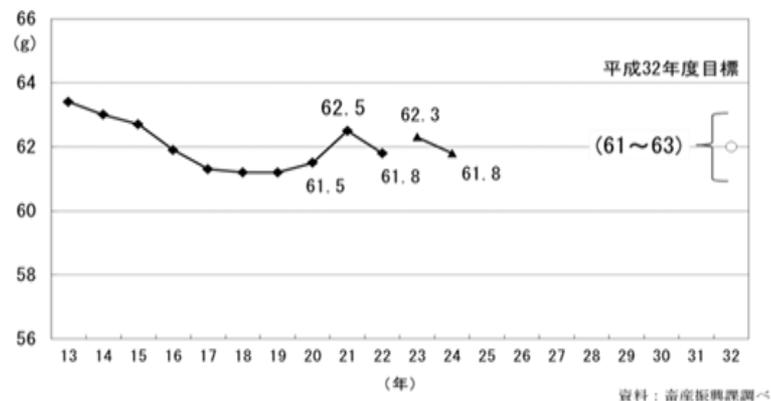


## <見直し後>



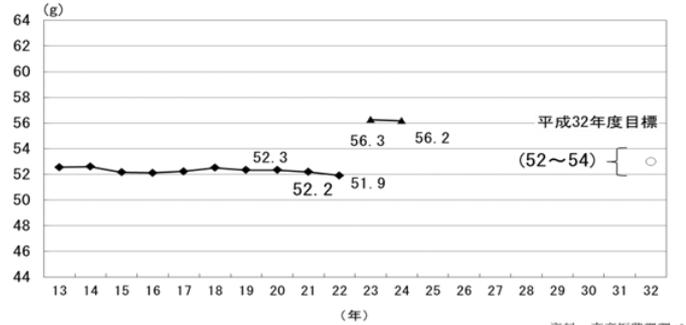
注：産卵率 =  $\frac{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の産卵個数}}{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の生存延べ羽数}} \times 100$

(2) 卵重量 (g)

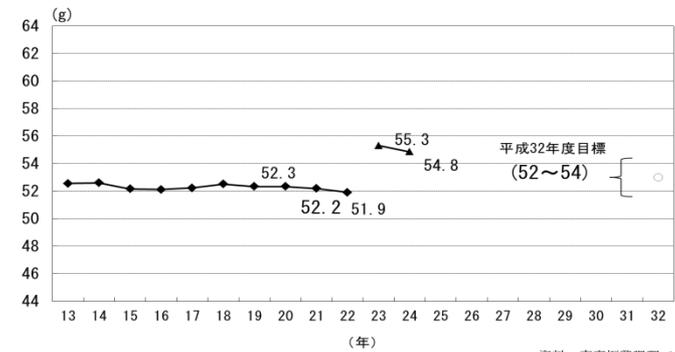


## <見直し前>

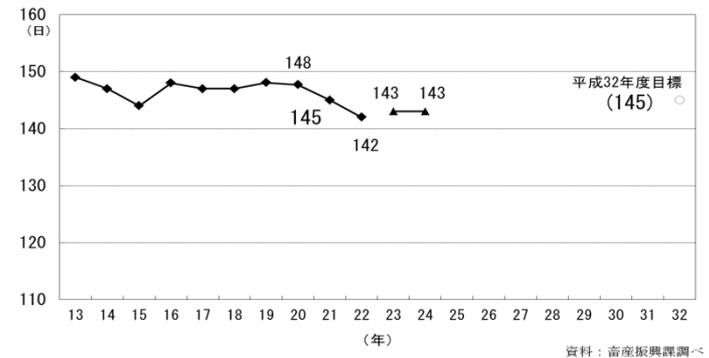
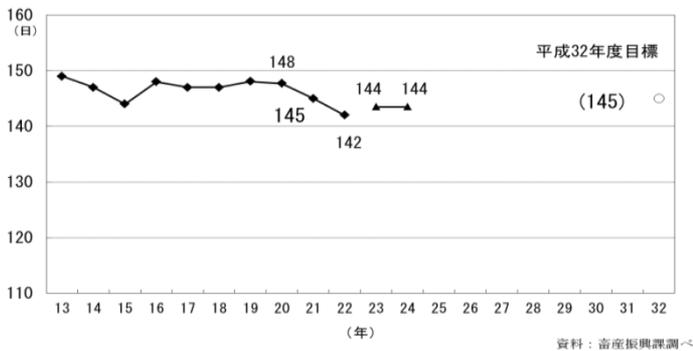
(3) 日産卵量



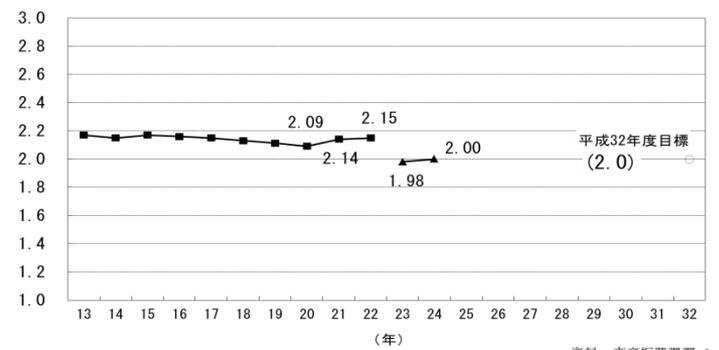
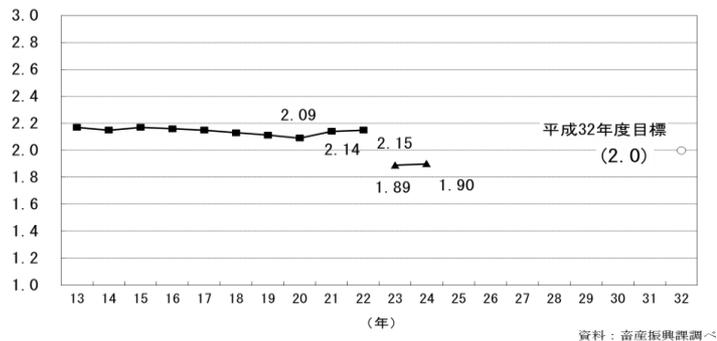
## <見直し後>



(4) 初産日齢 (50%産卵到達日齢)



(5) 飼料要求率



注：飼料要求率 =  $\frac{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の飼料消費量}}{50\% \text{産卵日齢から1年間における鶏群の産卵重量}}$

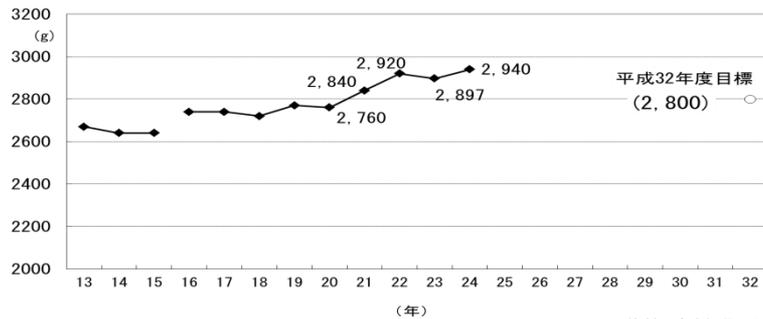
## (2) 肉用鶏の現状値について

- ・肉用鶏の現状値のデータについては、平成16年度以降の外国鶏銘柄を市販している民間企業が収集した国内のフィールドデータ(年間約1億羽。出荷日齢平均49日齢)に基づき推計。
- ・これによると、現状値は、平成32年度の目標を既に超えている状況。

### ○肉用鶏の改良の推移

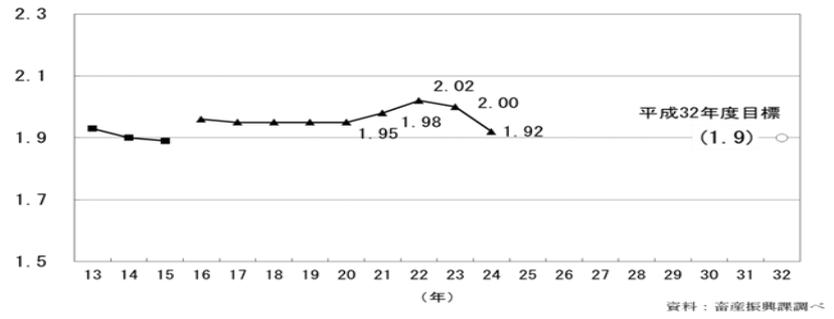
【肉用鶏】	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	目標H32
49日齢体重(平均)	2,740	2,740	2,720	2,770	2,760	2,840	2,920	2,897	2,940	2,800
育成率(～49日齢)	95.56	96.00	96.43	96.39	96.29	96.20	94.40	94.03	95.6	98
飼料要求率(～49日齢)	1.96	1.95	1.95	1.95	1.95	1.98	2.02	2.00	1.92	1.90

(1) 体重



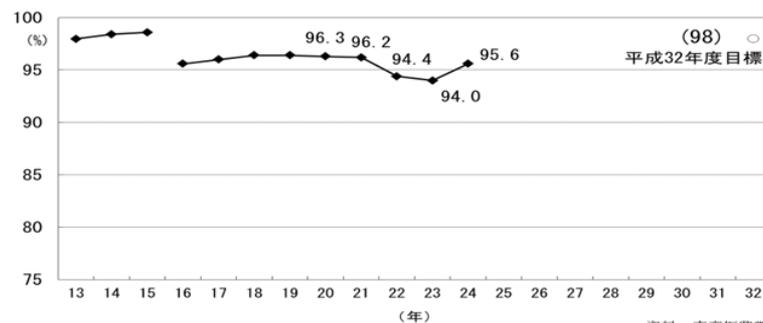
資料：畜産振興課調←

(3) 飼料要求率



資料：畜産振興課調←

(2) 育成率



資料：畜産振興課調←

注：体重＝ 49日齢時点における雄雌平均値

$$\text{育成率} = \frac{\text{鶏群の49日齢時点羽数}}{\text{鶏群の餌付け羽数}} \times 100$$

$$\text{飼料要求率} = \frac{\text{餌付けから49日齢時点までの飼料消費量}}{\text{鶏群の49日齢時点の体重}}$$

## 4 改良目標値(平成37年度)の検討について

・平成37年度の改良目標値(案)は、各形質の改良状況を参考に設定。

### <卵用鶏>

年 度	産卵率 (%)	300日齢 卵重 (g)	日産卵量 (g)	50%産卵 日齢 (日)	飼料 要求率	飼養羽数 (百万羽)
現状値(24年度)	87.9	62.4	54.8	143	2.00	175
目標値(32年度)	86	61-63	52-54	145	2.0	171
目標値(案) (37年度)	88	61-63	54-55	143	2.0	〇〇〇

※産卵率=50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵個数/  
50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の生存延べ羽数×100  
※日産卵重=産卵率×300日齢卵重  
※飼料要求率=50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の飼料消  
費量/50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵重量

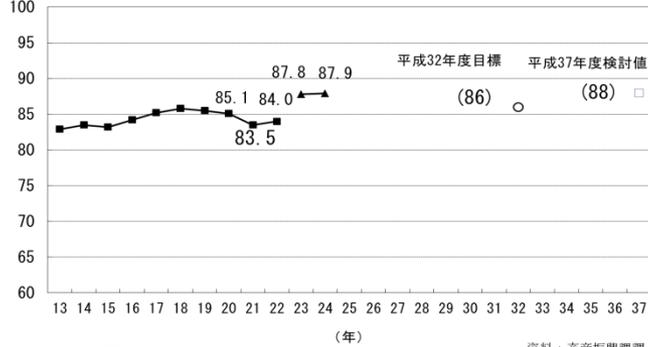
### <肉用鶏>

年 度	体 重 (kg)	育成率 (%)	飼料 要求率	飼養羽数 (百万羽)
現状値(24年度)	2.94	95.6	1.92	132
目標値(32年度)	2.8	98	1.9	106
目標値(案) (37年度)	2.94	98	1.9	〇〇〇

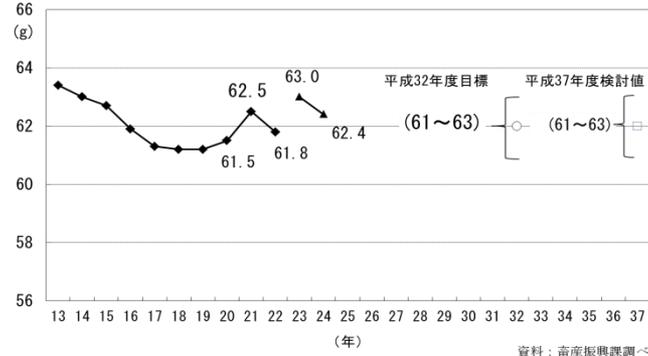
※体重=雌雄の49日齢時の平均体重  
※育成率=49日齢時における生存羽数/鶏群のえ付け羽数×100  
※飼料要求率=え付けから49日齢までの飼料消費量/49日齢時体重

# (卵用鶏)

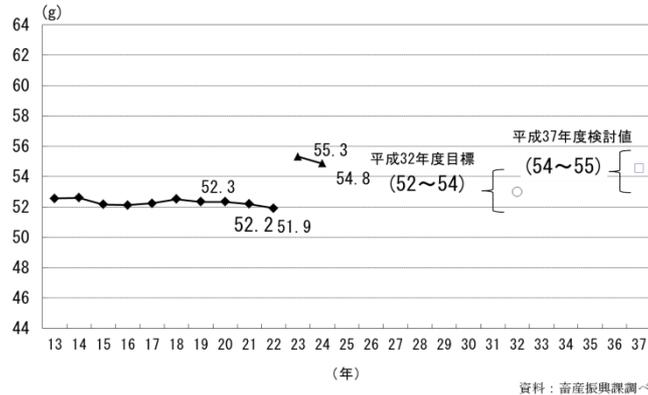
(1) 産卵率 (%)



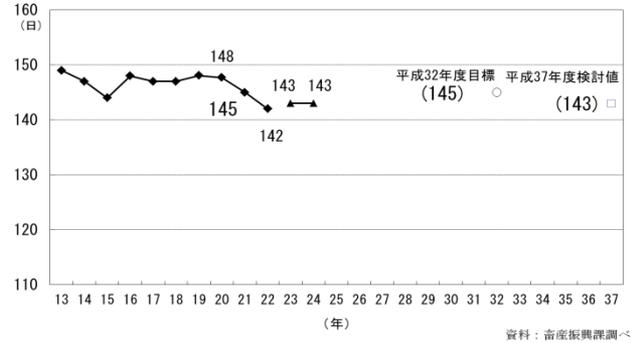
(2) 卵重量 (g)



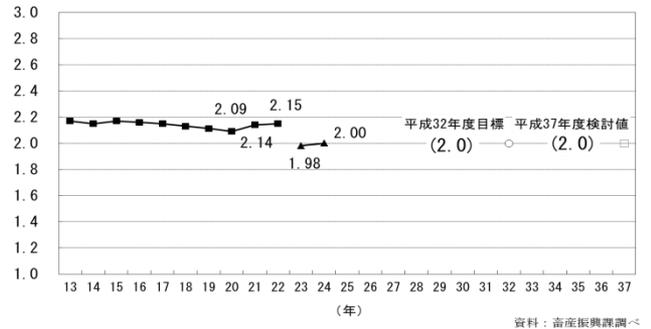
(3) 日産卵量 (g)



(4) 初産日齢 (50%産卵到達日齢) (日)



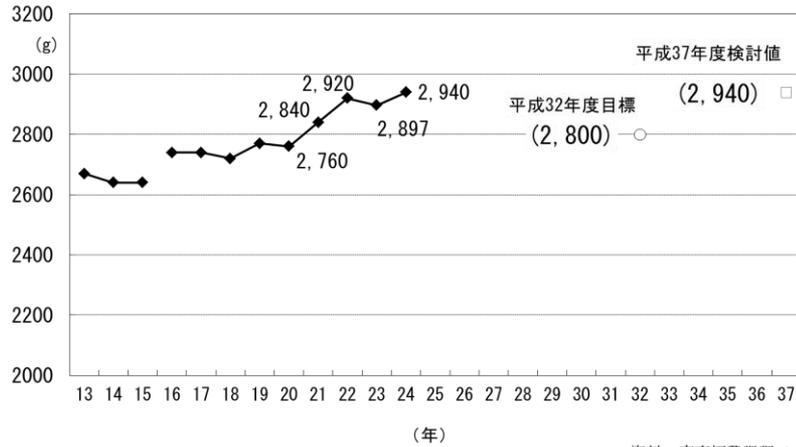
(5) 飼料要求率



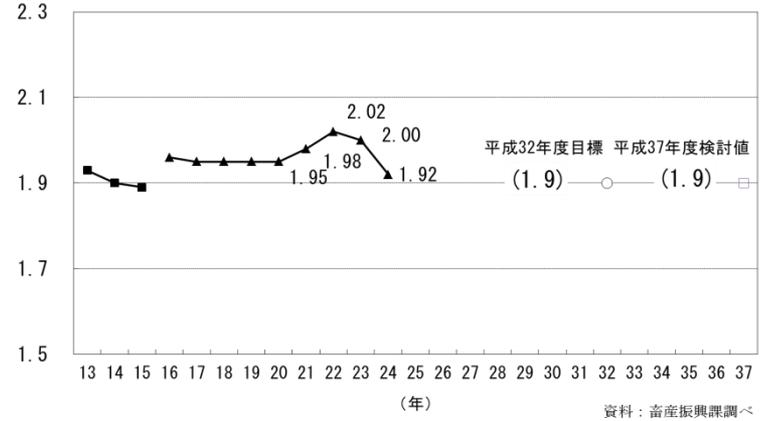
※産卵率= 50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵個数/50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の生存延べ羽数×100  
 ※日産卵重= 産卵率×300日齢卵重  
 ※飼料要求率= 50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の飼料消費量/50%産卵到達日齢から1年間における鶏群の産卵重量

# (肉用鶏)

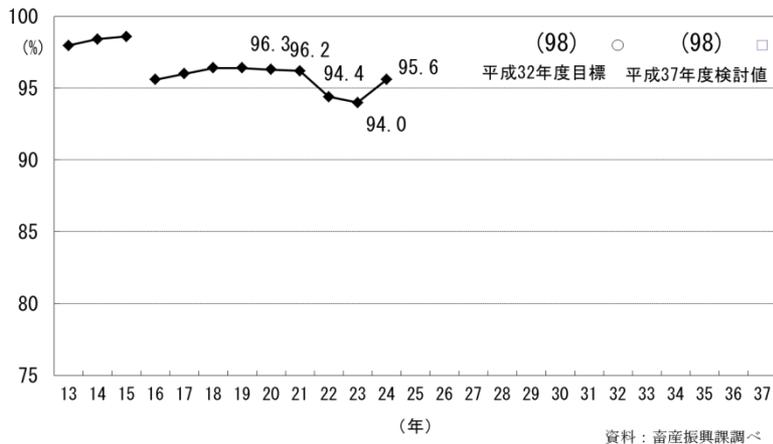
(1) 体重



(3) 飼料要求率



(2) 育成率



※ 体重 = 雌雄の49日齢時の平均体重  
 ※ 育成率 = 49日齢時における生存羽数 / 鶏群のえ付け羽数 × 100  
 ※ 飼料要求率 = え付けから49日齢までの飼料消費量 / 49日齢時体重